

【参考資料】

令和5年度末の
「地域重点プロジェクト」の推進状況について

北海道開発局札幌開発建設部

令和6年7月29日

施策1. 食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現

(1) 北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進

○広域分散型の国土づくりを先導する交通ネットワークの整備

道央都市圏と農村地域など生産空間や各地域の中心都市とのアクセス強化を図り、「人流・物流の拡大」や「地域・拠点間の連携」を推進するため、「道央圏連絡道路(長沼南幌道路、中樹林道路)」をはじめ、「国道5号 創成川通」、「国道275号 江別北道路」などの事業を推進します。



【国道275号 江別北道路(江別市)】
(令和5年8月8日に通行方法を変更)



【道央圏連絡道路 中樹林道路(江別市、南幌町)】
(令和6年度の開通に向け、事業を推進)

【今年度の実施(完了)状況】

- 令和3年4月に、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(北海道ブロック版)」にて、「国道275号 江別北道路(令和5年度)」、「道央圏連絡道路 国道337号 中樹林道路(令和6年度)」等の開通見通しを公表。
- 令和5年8月8日に、「一般国道275号江別北道路」の通行方法を変更(全線4車線開通)。
- 中樹林道路は、令和6年度の開通に向けて、事業を推進。

施策1. 食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現

(1) 北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進

○道の駅の交通・防災・生活の拠点化

観光の加速化や防災拠点機能の強化、子育て応援施設や大学との連携など、あらゆる世代が活躍する地域の拠点機能の強化し、官民の力を合わせて更なる地方創生を推進します。

【防災】

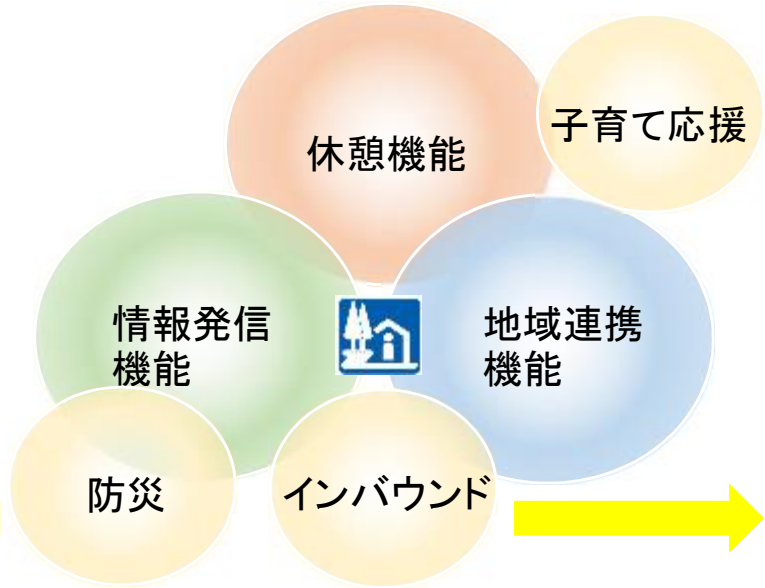


災害時における防災備蓄倉庫の整備
(北欧の風道の駅とうべつ)



防災機能向上訓練
(たきかわ)

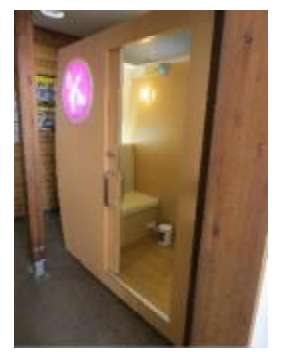
【道の駅の基本コンセプト】



【子育て応援】



妊婦向け屋根付駐車場
(石狩「あいろーど厚田」)



24時間利用可能なベビーコーナー
(ハウスヤルビ奈井江)

【インバウンド】



24時間トイレ案内
(スタープラザ芦別)
JNTOパートナー施設



総合案内所
(ライスランドふかがわ)
JNTOカテゴリ-1施設

【今年度の実施(完了)状況】

- 令和5年9月に、道の駅たきかわで防災機能向上を目的とした訓練を実施。
- 引き続き、自治体や「道の駅」管理者と道の駅に求められる防災や観光、福祉など多様な社会ニーズへの対応に向けた意見交換を行う。

施策1. 食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現

(2) 北海道の価値創造力の強化に向けた多様な人材の交流・連携等の促進

○地域づくり人材の発掘・育成の促進

地域の課題解決・活性化を図り、北海道の「価値創造力」強化に向けて、「北海道価値創造パートナーシップ活動」を展開し、地域づくり人材の広域的・横断的な交流や連携を推進する。



H27～H30
「空知地域づくり活動団体勉強会」
【取り組み内容】
 ・活動団体の洗い出しを実施
 ・活動団体の相互理解と協働への下地づくりを実施
【活動成果】
 ・プラットフォームの形成
 ・空知シーニックバイウエイ候補ルート登録への寄与

新たな展開に向け



R2「手づくり郷土賞」受賞



道の駅の多機能化
(子育て支援施設や防災備蓄倉庫の整備)



多目的芝生広場を整備
(防災機能向上訓練・体験行事)

「地域資源の持続的活用に関する検討会」
 空知共通の課題を抱える奈井江町で「道の駅」を核とした地域振興策の取組をモデルとして進める
【活動成果】
 ・地域の課題解決に向け、道の駅の役割や防災機能強化についての議論を実施
 ・活動団体の取組が評価され、「手づくり郷土賞(国土交通大臣表彰)」を受賞(R2. 12)
 ・地元企業及び自治体と連携し、「道の駅」の更なる防災機能強化への取組を実施
 ・道の駅構内に多目的芝生広場を整備(地元企業) など



【R3～R4】古写真を収集、住民による検証会を実施



【R5】これまでの活動の成果を発信



【R5】古写真収集のマニュアルを作成



【R5】道の駅を中心とした地域周遊のサイクリングマップを更新

【今年度の実施(完了)状況】

- 札幌開発建設部地域振興対策室とともに、古写真収集活動のマニュアルを作成し、他の地域への横展開につなげる。
- 地域振興の取組の場で、歴史伝承の活動の成果を発信。
- 道の駅を中心とした地域周遊のサイクリングマップの情報を更新し、道の駅で無料配布。